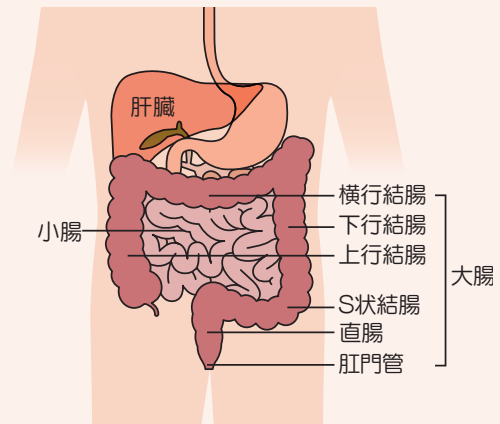




出典：国立がん研究センターがん対策情報センター

大腸の役割

大腸は、成人で1・5mの長さになる消化管の一部です。小腸でほとんどの栄養素を吸収されドロドロの状態になった食べ物の残りがすは、大腸で水分を吸収されたのち、大便となって肛門から排せつされます。

また、大腸は、粘液を分泌して大便をなめらかにして排せつを手助けしてくれる器官でもあります。

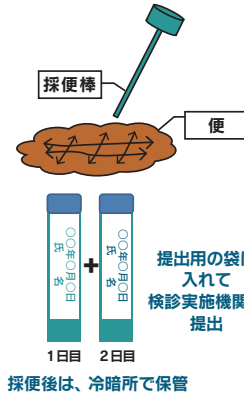
大腸がん検診

がんやポリープなどの大腸疾患があると、大腸内に出血することがあります。その血液を検出するために大便を調べる検査を便潜血検査といいます。

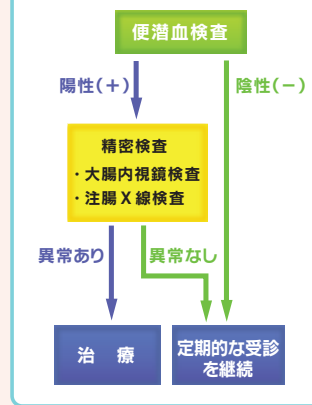
この検査は、2日分の大便を提出するのみですので、「食事制限が不要」「痛みを伴わない」「手間が少なう」「忙しくても受診できる」検査です。

なお、便潜血検査で陽性となった場合には、その原因を明らかにするため、精密検査（大腸内視鏡検査、注腸エックス線検査）を受ける必要があります。

便潜血検査



検査後の流れ



ご存じですか！

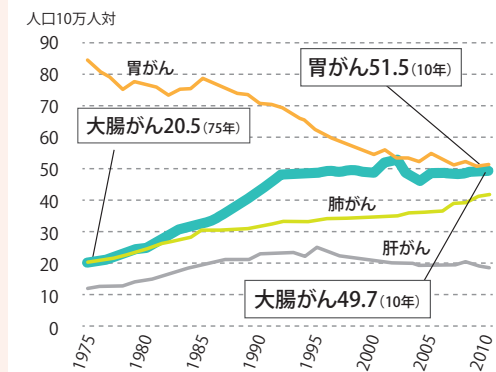
「大腸がん」のこと？

罹患率の増加

大腸がんは、かつて日本人には少ないがんと言われていましたが、この30年で罹患率（新たに大腸がんにかかる割合）が2倍以上に伸び、数年後には胃がんを超えるものと予想されています（図1）。

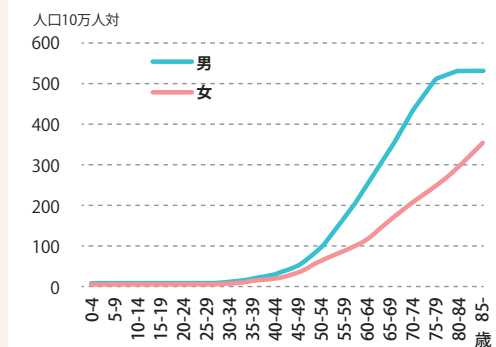
日本人の食生活が西洋化してきた

図1 年齢調整罹患率(主要部位別、男女計)の推移



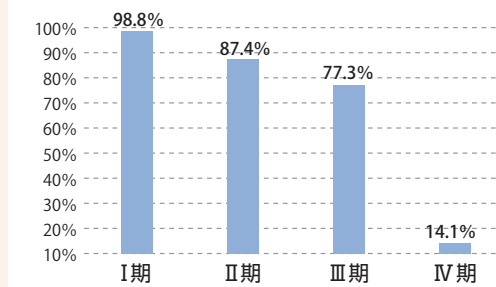
※昭和60年日本 人モデル人口による
出典：国立がん研究センターがん対策情報センター
附記：がんは、高齢になるほど罹患率が高くなるため、同じ集団で罹患率の年次推移を求める等の場合には、この「年齢調整罹患率」が用いられます。

図2 大腸がん 年齢階級別罹患率



出典：国立がん研究センターがん対策情報センター
附記：異なる年齢層間の罹患率の違いを見る場合には、図1の「年齢調整罹患率」ではなく、この「年齢階級別罹患率」が用いられます。

図3 大腸がん 5年相対生存率



出典：全国がん（成人病）予防センター協議会「生存率共同調査」（2014年4月集計による）
附記：病期（I期、II期、・・・）は、IV期に近いほどがんが広がっている状態（進行がん）です。

発見のためには定期的に検診を受けることが大切です。



ー佐賀県からのお知らせー

職域大腸がん検診促進事業

佐賀県では、働く世代の大腸がん検診（便潜血検査）の受診を促進するため、平成26年度から、「職域大腸がん検診促進事業」を実施しています。
事業主の皆さま、従業員の健康を考え、この事業に参加してみませんか。

どんな事業なの？

健康増進法に基づき佐賀県内の市町が住民の方を対象に行う大腸がん検診を、職場に出向いて実施する事業です。事業主の皆さまが従業員を対象に定期健康診断を実施するときに併せて大腸がん検診を実施します。

◆検診実施機関

平成26年度は次の2つの機関でこの事業による大腸がん検診を行います。
一般財団法人佐賀県産業医学協会
公益財団法人佐賀県総合保健協会

◆対象となる事業所

検診実施機関に定期健康診断を委託し、かつ、職域で大腸がん検診を実施していない県内事業所

◆対象となる従業員

県内の市町※1に住所を有し、事業に参加する事業所に常時雇用されており、かつ、健康増進事業の大腸がん検診の対象年齢（40歳以上）に達している方

◆大腸がん検診にかかる費用

市町の住民検診と同じ仕組みです。で、受診者の自己負担金※2を除き、検診費用は従業員の居住する市町が負担します（事業主の負担はありません）。

◆どんなことをするの？

- (1) 定期健康診断の日から60日前までに参加申込書を佐賀県に提出してください。
- (2) 事業所に大腸がん検診キット、問診票及び受診希望者名簿が届きますので、従業員への周知、配布をお願いします。
- (3) 事業所の定期健康診断の当日、採取した便を検診実施機関に提出してください。
- (4) おおむね1か月後に従業員本人に検診の結果が届きます。

※1 平成26年度のこの事業には、鳥栖市、基山町を除く18市町に参加いただいています。
なお、鳥栖市、基山町でも大腸がんを含む各種がん検診が行われていますので、これらの市町に住所を有する方は、市町のがん検診で受診してください。

※2 居住する市町により自己負担金の有無及び額は異なります（無料〜600円）。

詳しくは、
佐賀県健康福祉本部
健康増進課
がん対策推進担当 まで

●電話●
0952-25-7074

●メール●
kenkouzoushin@pref.saga.lg.jp